

経済水道委員会

説明資料

金山南ビル名古屋ボストン美術館棟について

平成30年10月15日
観光文化交流局

目 次

	頁
1 美術館棟の活用に係る検討経緯	1
2 美術館棟の概要	2
3 民間事業者等ヒアリング	3
4 民間事業者等公募	4
5 今後の予定	6

1 美術館棟の活用に係る検討経緯

時 期	内 容
平成28年度	・公益財団法人名古屋国際芸術文化交流財団の理事会において、平成30年度末での事業終了を決定 ・庁内での利用意向を確認するため、市公有財産運用協議会を通じて利用要望を照会 ・金山南ビル名古屋ボストン美術館棟活用調査を実施し、設備上の課題等を整理
平成29年度	・名古屋商工会議所との美術館棟の活用検討に係る協議・調整 ・美術館棟の活用に関する民間事業者等アンケート及びヒアリングの実施 ・市公有財産運用協議会を通じた照会の継続等、庁内での有効活用の検討
平成30年度	・平成28年度の照会以降、利用要望がないことから市公有財産運用協議会による協議物件から差し戻し ・美術館・博物館用途での活用に関する民間事業者等ヒアリングの実施 ・名古屋ボストン美術館閉館

2 美術館棟の概要

区 分	内 容
所 在 地	名古屋市中区金山一丁目1番1号
建築時期	平成11年3月竣工
取 得 額	4,375,879,772円
所 有 者	名古屋市
主な施設内容	地下1階：更衣室、清掃員控室 1階：警備員室、荷捌室 2階：空調機械室、倉庫 3階：エントランスホール、ミュージアムショップ、 収蔵庫、事務室 4階：展示室 5階：展示室、レクチャールーム、図書コーナー
そ の 他	名古屋ボストン美術館は平成11年4月開館

3 民間事業者等ヒアリング

(1) 経緯

平成29年度に実施した民間事業者等アンケート及びヒアリングにおいて、美術館棟の活用方法について幅広く意見を聴取した後、美術館棟の用途変更には高層棟を含む大規模改修が必要となる可能性が高く、用途変更が困難だと判断したことから、用途を美術館・博物館に限定し、民間事業者等に美術館棟の活用意向について改めてヒアリングを実施した

(2) 実施期間

平成30年7月～10月

(3) 対象

市内外の企業、美術館・博物館、団体 43者

(4) 主な意見

- ・ JR、地下鉄、名鉄が集まる金山の立地は、だれでも行きやすい場所で、展示スペースとしての立地は悪くない
- ・ 活用する可能性もなくはないが、組織としての判断になる
- ・ 条件にもよるが、活用に関心がある。当社ではコンテンツを持っていないが、それを持っているところと組むことはありうる
- ・ 施設管理はできないが、（展示のための）コンテンツを持っており、企画展などでの利用が可能なら活用を検討したい
- ・ 美術館の分館、美術系大学のアート・スペース、アトリエ的な利用方法があるのではないか
- ・ ヒカリエや渋谷文化村のような文化拠点となるといい
- ・ 既に博物館を有しているため、移転の予定はない

4 民間事業者等公募

(1) 趣旨

現時点において市内での利用要望がないことから、民間事業者等への貸し付けによる美術館棟の活用を図るもの

(2) 美術館棟活用の考え方

これまで名古屋ポストン美術館により市民が質の高い文化芸術に触れる機会を提供してきたことから、今後も本市の文化芸術の振興に寄与するとともに、金山駅周辺まちづくり構想に基づき美術館棟の活用による金山地区の集客性向上を目指す

(3) 募集方法

美術館棟活用事業者の選定にあたり、貸付料だけでなく、企画・提案能力や運営能力を含めた評価により事業者を選定する必要があることから、公募型プロポーザルによる事業者募集を行う。

(4) 募集条件 (案)

区 分	内 容
用 途	美術館又は博物館
契約形態	定期建物賃貸借契約
貸 付 料	市が設定する最低貸付価格以上で事業者が提案した金額
期 間	3年から10年で事業者が提案した期間
面 積	5,424.61m ² 地下1階： 286.80m ² 1階： 229.20m ² 2階： 486.07m ² 3階： 1,209.28m ² 4階： 1,226.25m ² 5階： 1,260.53m ² 共用部： 726.48m ²
借主負担経費	・ 共益費 ・ 水道光熱費 ・ 設備の維持・修繕費用 ・ その他、美術館または博物館の運営に必要な費用

(5) 貸付料の考え方

不動産鑑定の結果を基に設定

(6) 提案を受ける内容

区 分	内 容
コンセプト	施設運営及び展示内容の基本的な考え方
事業計画	展示等の事業計画
広報・PR方法	施設の広報・PR方法及び来場者を確保するための取り組み
施設利用計画	美術館棟内各室の利用計画
施設改修計画	施設の改修内容
金山地区への効果	にぎわいの創出等、金山地区に期待される効果

5 今後の予定

時 期	内 容
10月下旬	・募集要項の公表
11月上旬	・現地見学会の実施
12月下旬	・提案募集締め切り ・提案内容の評価
1 月	・契約候補者の決定
4 月	・貸付開始